

令和2年6月26日

吸収合併に関する法定事前備置書面の追加について

山口県宇部市大字小串 1978 番地の 96

宇部興産株式会社

代表取締役社長 泉原 雅人



当社は、令和2年4月24日付で、当社を吸収合併存続会社、宇部アンモニア工業有限会社（以下「宇部アンモニア工業」といいます。）を吸収合併消滅会社とする吸収合併に関する法定事前備置書面（会社法第794条第1項及び会社法施行規則第191条に定める書面、以下「本法定事前備置書面」といいます。）を本店に備え置いておりますが、令和2年6月24日開催の宇部アンモニア工業の株式総会において、同社の令和2年3月期に係る計算書類等が承認されました。

これにより、本法定事前備置書面の記載事項について、会社法第794条第1項及び会社法施行規則第191条第7号の規定に基づき下記のとおり記載内容を追加いたします。

記

7. 本法定事前備置書面開示後に生じた事項（会社法施行規則第191条第7号）

- ・吸収合併消滅会社の最終事業年度に係る計算書類等の内容（変更分）【別紙3】
- ・吸収合併消滅会社の最終事業年度の末日後に生じた重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象（変更分）【別紙4】

【吸収合併消滅会社の最終事業年度に係る計算書類等の内容（変更分）】

宇部アンモニア工業の令和 2 年 3 月期に係る計算書類等を掲載しております。

第 5 1 期 報 告 書

自 2 0 1 9 年 4 月 1 日

至 2 0 2 0 年 3 月 3 1 日

宇部アンモニア工業有限公司

1. 現況に関する事項

(1) 事業の経過及びその成果

当期においては、アンモニア国際価格（極東 C&F）は、2019 年 4 月の 285 ドルから大きな変動はなく、300 ドル前後で推移致しました。一方、アンモニア原料である石油コークス価格は、2019 年 4 月の 62 ドルから下落し続けて 11 月には 29 ドルとなりましたが、その後は 30 ドル程度で推移しております。

こうした状況の中で、当期は定期検査による生産停止がなく操業度を高めることができました。また、設備トラブルがあり減産はしたものの、生産停止はなく、ガス化設備稼働以降 2 番目の生産量となりました。

結果、当社の当期の業績ですが、アンモニア生産量は前期に比べて 25%増の 385 千トン、販売量は前期に比べて 19%増の 368 千トンとなり、生産量・販売量ともに増加しました。売上高は、アンモニアの販売数量は増加しましたが、連続運転による原価低減と石油コークス価格の値下がりにより前期比 16%減の 134 億 9 千 7 百万円になりました。損益面につきましては、営業利益は 5 千 9 百万円となりましたが、特別利益に協和発酵バイオ株式会社へスチーム供給終了に伴う石炭ボイラー設備代簿価負担分 3 億 8 千万円を計上し、当期純利益は 3 億 1 百万円となりました。

当期のトピックスとしては、2019 年 11 月に協和発酵バイオ株式会社、2020 年 3 月に西部石油株式会社が宇部興産株式会社へ株式譲渡し、宇部興産株式会社の 100%出資会社となりました。

最後になりますが、当社は今後も安定生産・安定供給並びに原価低減というコストセンターとしての使命を果たすべく鋭意努めてまいりますので、株主様におかれましては、尚一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(2) 資金調達の状況

自己資金及び借入金により所要資金は賄いました。

(3) 設備投資の状況

当期の設備投資は、総額3億4千3百万円となりました。

(4) 財産及び損益の状況の推移

年度 区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度 (当期)	前期比
(百万円) 売上高	13,726	13,729	16,075	13,497	2,578減
(百万円) 当期純利益	27	25	42	301	259増
(百万円) 総資産	11,496	10,861	11,959	9,812	2,147減

(5) 重要な親会社及び子会社の状況(2020年3月31日現在)

親会社との関係

当社の親会社は、宇部興産株式会社であり、当社へ100%を出資しています。

又、親会社に対し、主としてアンモニアを販売しています。

(6) 主要な事業内容(2020年3月31日現在)

アンモニアの製造並びに販売

(7) 事業所

本社・工場 山口県宇部市大字藤曲2575番地

(8) 従業員の状況 (2020年3月31日現在)

従業員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
0名	—	—	—

(9) 主要な借入先 (2019年3月31日現在)

借入先	借入金残高	前期比
株式会社三菱UFJ銀行	389,905千円	
株式会社みずほ銀行	370,500千円	
株式会社山口銀行	329,800千円	
農林中央金庫	229,900千円	
主要な借入先計	1,320,105千円	
その他借入先計	279,900千円	
借入金合計	1,600,005千円	2,998,970千円減

2. 株式に関する事項 (2020年3月31日現在)

- ① 発行済株式の総数 40,000株
- ② 1株の金額 100,000円
- ③ 株主数 1名
- ④ 全株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
宇部興産株式会社	40,000株	100.000%

3. 会社役員に関する事項

(1) 取締役及び監査役（2020年3月31日現在）

氏 名	地 位	重要な兼職の状況
三 浦 英 恒 泉 原 雅 人 山 本 哲 之 福 本 敬 三	* 取締役社長 取 締 役 取 締 役 監 査 役	宇部興産株式会社上席執行役員 宇部興産株式会社代表取締役社長執行役員 宇部興産株式会社化学カンパニー化学生産本部宇部藤曲工場長 宇部興産株式会社監査役室主席部員

注1. *印は代表取締役であります。

注2. 当期中に退任した取締役及び監査役

取 締 役 南 方 健 志 （2019年11月30日退任）

取 締 役 玉 井 裕 人 （2020年 3月31日退任）

監 査 役 武 波 伸 夫 （2019年 4月 1日退任）

監 査 役 中 村 俊 也 （2019年11月30日退任）

注3. 当期中に就任した監査役

監 査 役 福 本 敬 三 （2019年 4月 1日就任）

貸 借 対 照 表

2020年 3月31日現在

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	3,904,196	流動負債	3,620,737
現金及び預金	24,454	買掛金	1,130,482
売掛金	2,578,844	短期借入金	1,028,570
前払費用	267	未払金	1,242,199
未収入金	251,313	未払消費税等	101,727
預け金	1,049,318	未払法人税等	117,152
		未払費用	7
		前受収益	600
固定資産	5,908,095	固定負債	572,042
有形固定資産	5,666,146	長期借入金	571,435
建物	288,552	長期前受収益	607
構築物	409,448		
機械装置	3,616,737		
車両運搬具	0		
工具器具備品	62,809		
土地	1,202,224	負債合計	4,192,778
建設仮勘定	86,376		
		(純資産の部)	
無形固定資産	32,495	株主資本	5,619,512
ソフトウェア	30,616	資本金	4,000,000
その他無形固定資産	1,878	利益剰余金	1,619,512
		利益準備金	106,000
投資その他の資産	209,454	その他利益剰余金	1,513,512
長期前払費用	200,829	繰越利益剰余金	1,513,512
繰延税金資産	8,625		
その他投資	0		
		純資産合計	5,619,512
資産合計	9,812,290	負債・純資産合計	9,812,290

損 益 計 算 書

自 2019年 4月 1日
至 2020年 3月 31日

(単位：千円)

売 上 高		13,497,313
売 上 原 価		13,412,563
売 上 総 利 益		84,750
販売費及び一般管理費		25,756
営 業 利 益		58,993
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	65	
そ の 他	5,059	5,124
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	10,230	
固 定 資 産 廃 棄 損	5,525	
そ の 他	13,624	29,379
経 常 利 益		34,738
特 別 利 益		
そ の 他 特 別 利 益	380,244	380,244
税 引 前 当 期 純 利 益		414,982
法人税・住民税及び事業税	99,423	
法 人 税 等 調 整 額	14,241	113,665
当 期 純 利 益		301,317

株主資本等変動計算書

自 2019年 4月 1日
至 2020年 3月31日

(単位：千円)

	株主資本					評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	利益剰余金			株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	
		利益準備金	その他利益剰余金	利益剰余金合計			
			繰越利益剰余金				
当期首残高	4,000,000	106,000	1,212,194	1,318,194	5,318,194	0	5,318,194
当期変動額							
剰余金の配当				0	0		0
当期純利益			301,317	301,317	301,317	0	301,317
株主資本以外の 項目の当期変動 額(純額)				0	0	0	0
当期変動額合計	0	0	301,317	301,317	301,317	0	301,317
当期末残高	4,000,000	106,000	1,513,512	1,619,512	5,619,512	0	5,619,512

個別注記表

1. 貸借対照表・損益計算書及び株主資本等変動計算書の金額は、千円未満を四捨五入表示しています。

2. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産（リース資産を除く）

建物・構築物・機械装置：定額法

車両運搬具・工具器具備品：定率法

無形固定資産（リース資産を除く）：定額法。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における見込利用可能期間（5年）に基づく定額法によっています。

(2) 引当金の計上方法

貸倒引当金：債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しています。

(3) 消費税等の会計処理：税抜方式によっています。

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当事業年度末における発行済株式の種類及び株式数

普通株式 40,000株

別紙 4

【吸収合併消滅会社について、最終事業年度の末日後に生じた重要な財産の処分、重大な債務の負担その他会社財産の状況に重要な影響を与える事象】

令和2年4月1日より現在に至るまでの間は、該当事項はありません。